

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	48	入居者一人ひとりの役割、楽しみや気晴らしの支援を充実していく。	入居者一人ひとりに役割を持ってもらい、楽しみ(ミニレク等)を充実させる。	・職員主義の楽しみや役割になることがないように、入居者に対しての言葉がけに気をつけていく。また、職員同士で気付きを話せる関係を築く。	12か月
2	13	職員のレベル向上を図る。(外出願望の入居者に対するケア)	職員一人ひとりが向上心を持ち、チーム力をつける。	・認知症への理解をより一層深めるために、ホーム内において、3ヶ月に一度、認知症への理解を深める研修を取り入れ、知識を得ることにより、自信をもって業務に取り組む。	12か月
3				・1ヶ月に一度のカンファレンスの際に、各自の目標を立て、個々に反省を述べてもらう。それに向けての改善方法を発表してもらう。	12か月
4				・万が一、入居者が一人で外出されてしまった場合に備え、地元の駐在所との連携を図る。	12か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。